

野付半島でのネイチャーガイドと アドベンチャートラベルへの挑戦

ネイチャーガイド

三成 まゆみ

令和5年12月1日(金)

観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくりセミナー in 知床ねむろ

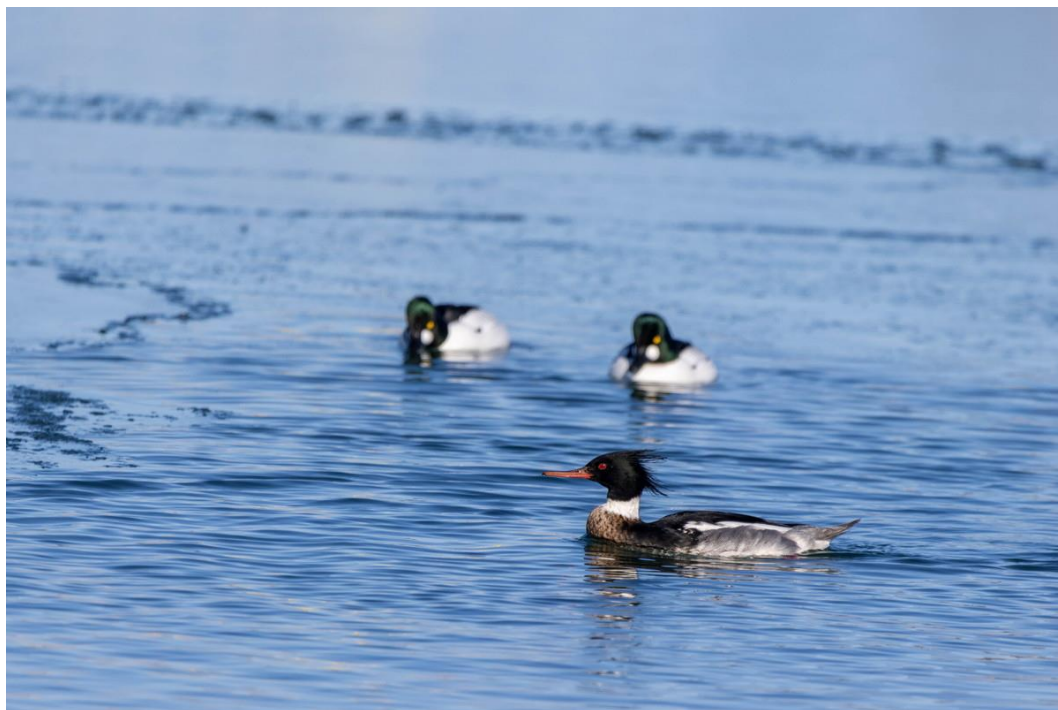
ネイチャーガイドのルーツ : 東京都江戸川区 葛西臨海公園

1989年開園の都立公園。

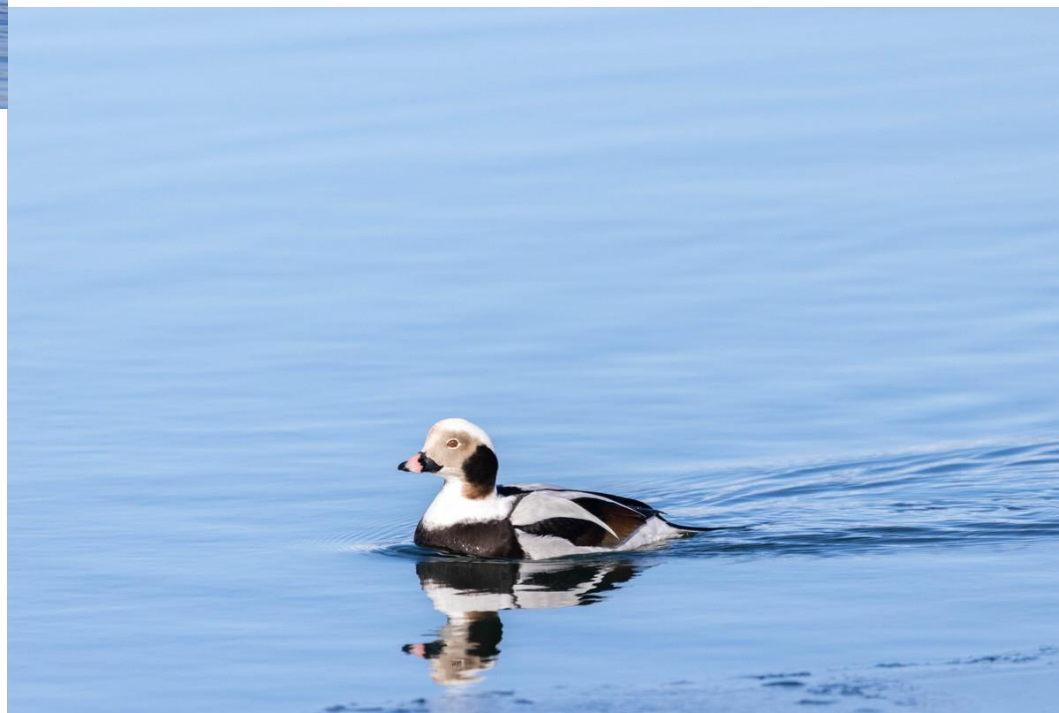
面積約80haと、都内屈指の自然の宝庫。

今までに約210種の野鳥が観察されている。

ネイチャーガイドのフィールド : 北海道別海町 野付半島



野付半島は2005年に、
葛西臨海公園は2018年に、
それぞれラムサール条約に登録
されている。



北海道移住 きっかけの一つ：根室バードランドフェスティバル

2008年より毎年開催。

道外からのバードウォッチャーが多く参加。

根室市民にも広く親しまれている。

毎年テーマバードを決め、それに関する講演会、バスツアー、イラストコンテスト、ブース展示を行っている。



2018年 中標津町へ移住



北海道アウトドアガイドの資格を取り、野付半島ネイチャーセンターを拠点にガイドを始める。

2019年からは根室バードランドフェスティバルでもガイドを務める。



野付半島でのガイドツアー

☆ グリーンシーズン(5月～10月)

- ・観光バスによる団体中心で、6月～7月の花の時期の需要が多い
- ・令和5年度は8月の個人客が多かった
(コロナ回復も一因)
- ・ネイチャーセンターとトドワラを往復するコースがメイン
- ・尾岱沼漁港から出航する「アザラシウォッチングクルーズ」とのコラボコースもあり
- ・ナラワラ「ポンニクルの森ツアー」もごく少数

☆ ホワイトシーズン(1月～3月)

- ・やはり観光バスによる団体中心
→ ネイチャーセンターすぐ隣の氷上でのトリック写真撮影が大多数
- ・個人客に人気「氷平線ツアー」
→ スノーシューでトドワラまで氷上を歩き往復
- ・ソリを使って移動し、伝統的漁法「氷下待網漁」を見に行くツアー

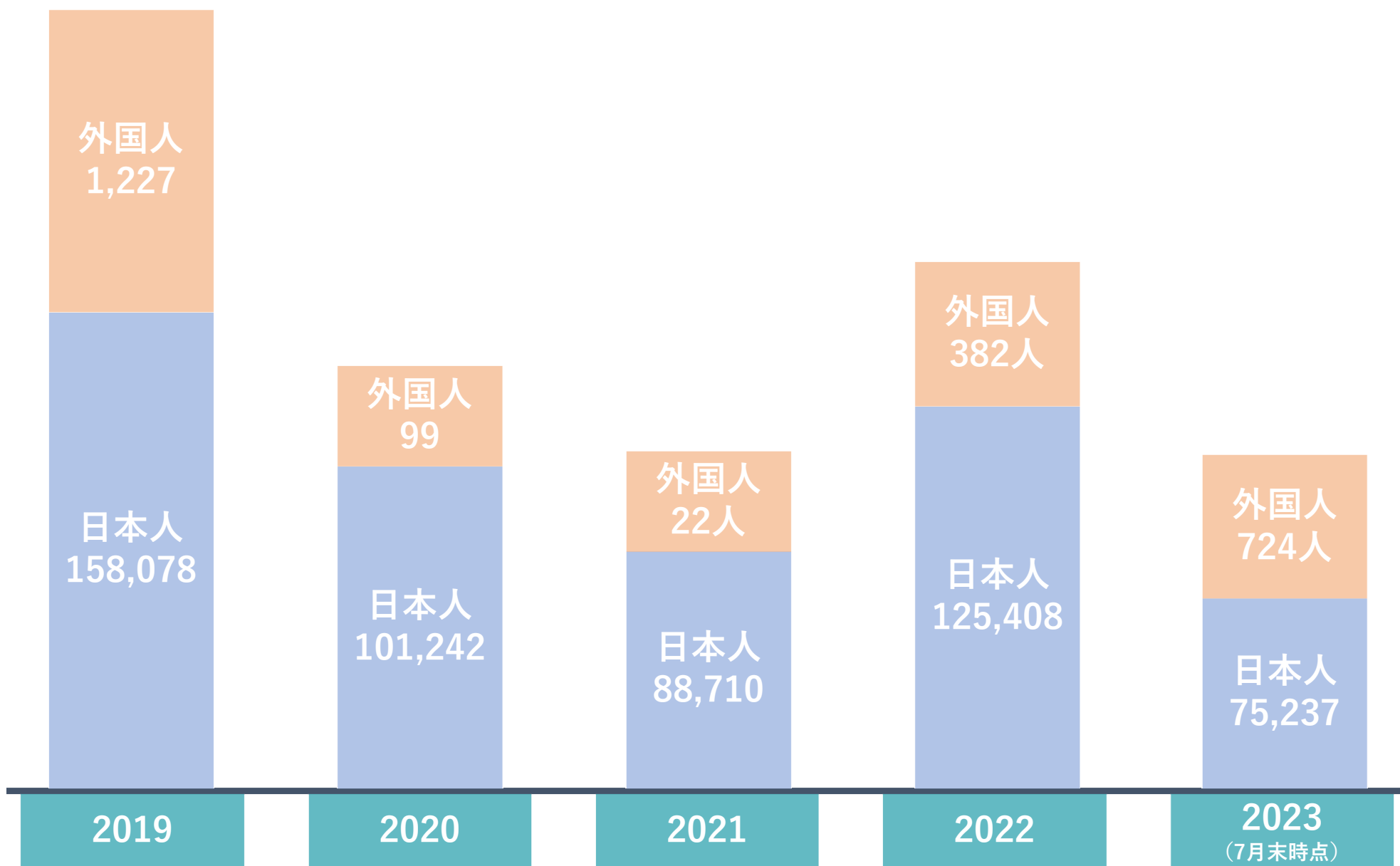
個人的にもオススメ！ 野付半島の冬！

外国からのお客様、
特に雪のない国(香港・台湾)、
日本とは季節が逆のオーストラリア等
からの方が野付を訪れてくれている。

3月には半島外海に流氷もやって来る。



野付半島ネイチャーセンターを利用した日本人及び外国人人数（人）

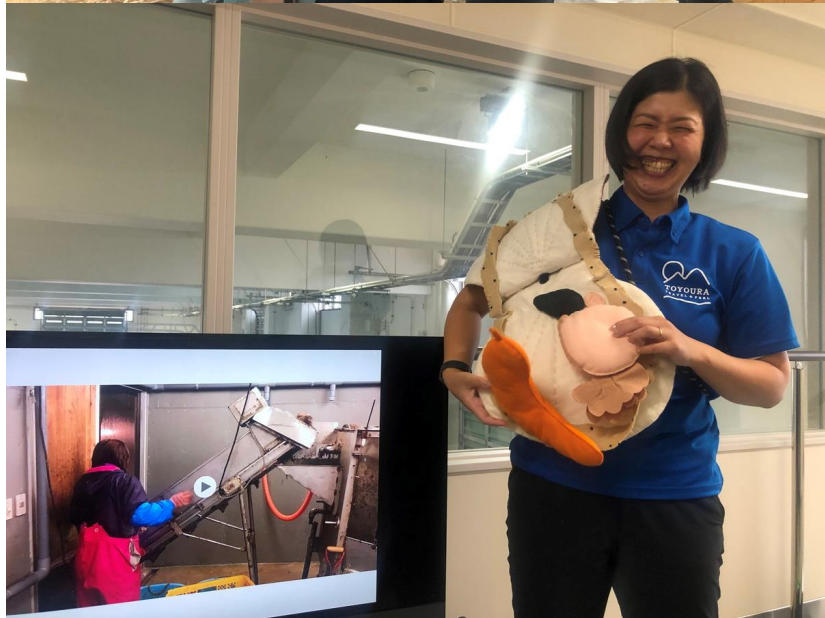


※ 見やすさ重視のためグラフ比率はデフォルメしています

アドベンチャートラベルへの挑戦 ① 先進地研修

知床ねむろ観光連盟の事業で、
地域から4名が参加しAT先進地研修。

- ・白老 ウポポイ
- ・洞爺湖 ジオパーク
- ・豊浦 ホタテ
- ・黒松内 ブナ林



アドベンチャートラベルへの挑戦 ② 受入研修（モニターツアー）



- ・開陽台から見る格子状防風林
- ・羅臼 漁業者と懇談、シャチクルーズ
- ・野付 アザラシクルーズ、先端部探検
- ・奥行臼駅通と厚床フットパス
- ・食事は地元食材中心、作り手の話



アドベンチャートラベル受入に向けて



知床ねむろ地域の持つ

「WILD LIFE + 人」の魅力を
どう伝えていくのか？

多くの人との関りの中で共生・保護・
ワイズユースをさらに学んで、
ガイディングに活かしていきたい。



画像出典:野付半島ネイチャーセンター